

(言葉での思考の深め方)		幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために			
内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○型に沿った表現をすることができる	○自分の考えを伝えるために表現することができる	○目的や相手を意識して表現をすることができる	○体験から感じ取ったことを表現することができる ○事実を正確に理解し伝達することができる ○概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用することができる
具体的な 子どもの姿	・生活の中で必要な言葉を使うことができる	・表現方法をまねて、自分や身近な人やものに置き換えることができる	・自分の考えや意見にあった言葉を探して表現することができる	・目的にあわせて効果的に表現できる	・友だちの意見を聞いて、自分の考えをまとめる表現することができる ・議論することができる
大切にしていこうこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもに応じた言葉がけをする	*基本の型を身につけられるようにすること	*言葉に立ち止まって考える時間を設定する *考えをはっきり伝えるために表現する *文章の組み立てを考えさせる *筋道を立てて考えさせる	*発表や表現の機会を多く提供する *多くの文章を継続的に声に出して読むことで、さまざまな表現方法を身につけられるようにする *効果的に書くためのモデル(型)を提示する *教え合いの機会を多く提供する	*学習した専門用語を用いて、「書く」「話す」などの表現活動をする *表現活動には一定の「型」を示し、パターン化した練習を取り入れる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする 「入れて」「貸して」「いいよ」等の遊びの中で必要な言葉を使う 歌の歌詞の意味を知る じゃんけんをする 描いたものや制作したものの説明をする 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字学習での文作り 日記 スピーチ 対話 グループでの話し合い 言葉あそび(クイズ) 教科書の手引きにそった言葉の活用 言葉、式、図を使って、自分の考えを伝える 文章題の問題文を子どもたちに作らせる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 体験したことや学んだことを他学年に伝える 図工の作品鑑賞で感想を伝え合う 「はじめに」「つぎに」など、文章の言い方(話型)を提示する 質問、感想を述べる。メモをとる。一行日記。 「はじめ」「中」「おわり」を意識したお話づくり 音読劇やオペレッタへの発展 本を紹介するリーフレットづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 「書く」の領域を利用して接続詞や文末表現を身につける 日記 教科書の「言葉のちから」を意識して学習し、学んだ「言葉」を教師に提示し、いつでもその言葉がつかえるようにする 発表の際、算数用語を使い、自分の考えを伝える 算数用語を意識させる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 文の組み立てを考える 体験したことや学んだことを他学年に伝える 作文のための文の組み立てを考えるワークシートを作成し冊子に綴じ常にそれを参考にして作文が書けるようにする 定期的に生活作文を書いて、「自分の考え」を常に意識する お礼の手紙で相手意識・目的意識をもたせる 体験活動のふり返り・記録を文章でまとめる 異学年間で調べたことなどの伝え合いの機会を設ける 授業のふり返りを書かせる 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の教科書にある手引き「言葉の使い方」を資料としてまとめて配布 「書き方マニュアル」を作成し、配布 資料を活用した文章を型を参考にしながら書く 多様な解き方を考え、まとめたり、発表させたりする 解決の仕方を全体に伝える 隣同士やグループでの教え合い学習で、友だち同士教え合う 友だちの考えを伝えさせる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 報告会、伝え合いの会等で、体験したことや学んだこと、調べたこと、自分の意見を他学年に伝える場を持つ 日記指導 既習事項をまとめた「表現ヒントファイル」を作成し活用する 話し合い活動において、司会カードを活用させる 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表したり書いたりする機会を増やす 論理的に展開するために「まず」「次に」など順序立てる言葉を用いる 小グループで話し合う場面を設定し、考えを交流・共有できるように工夫する プレゼンテーションの機会を多くする <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> テストや練習問題で記述問題に取り組む 表現の仕方、レポートのまとめ方 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的パターンの練習 説明の中で、繰り返し重要な言葉を使う 何を根拠としているかを明確にしながら話しを進める 日常生活と関連つけた問題場면을提示する 発展的学習を充実させるために教材を精選する <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てる 言語活動(記録・要約・説明・論述・討論・発表など)を充実する レポートなどに「理学的な言葉」を使って作成する <p>【音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽が形づくっている要素や構造などを理由としてあげながら音楽のよさや美しさについて述べ、自分にとっての価値を明らかにする <p>【美術】</p> <ul style="list-style-type: none"> 色・構造・色彩をいかした表現活動 <p>【技術・家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで話し合ったことをまとめて、分かりやすく発表する 技術科：言語を活用し、理解の解決をめざす 家庭科：相手に合わせたコミュニケーションを思考し、実践する <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門用語を使って表現する ダンス等で計画表を作成する(課題解決に向けての検討) 資質・能力の向上(自分の状況にあてはめて活用する) <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 習った単語や文法を使い、ペアワークやパターンプラクティスで定着させる ICTを積極的に取り入れることで、学習事項の理解を深める 伝えたいこと、話したいことを実生活に即した形で表現する
期待される成果	・絵本を見たり、物語を聞いたりして楽しみ、そこで想像上の世界に出会い、様々な思いを巡らし、その思いなどを教師や友だちと共有したりする	・相手に伝わるように言葉を選んで発表できるようになる ・基本の形にそった文章を書くことができる	・教室提示によって、つねに意識してその言葉を使おうとする児童が増え、他教科では学んだ言葉を使って発表することができた ・考えたことを順序立てて文章にすることができるようになった	・学んだことを活用し、文章化することへの抵抗が減ってきている ・「～から分かるように」「資料～は、～を表したものです」などの言葉を活用しながら自分で文章が書けた	・コミュニケーション活動の重要視により、互いに問題を共有しあい、互いが生きていくことの重要性を感じる態度を育成する ・自己理解のための活動の重視、社会生活との関わりの中で、自分の生き方を考える力を育成する